

**令和7年度 すくわくプログラム活動報告書**  
**(実施対象:3~5歳児かぜグループ**  
**3~5歳児もいグループ**  
**5歳児クローバー組)**

---

**陽だまの丘保育園**

テーマ

# 自然

設定理由

- 身近な自然物に触れる中で、「良い匂いの葉っぱがある」と呟く子どもの姿をきっかけに、さまざまな草花の匂い探しが始まったため。
- 自然豊かな場所で過ごすお泊まりキャンプの経験が、探求活動の広がりや新たな興味、アイディアの源になっているため。

活動のねらい

- 自然に触れて生活をしながら、美しさや不思議さに気づく

対象クラス

幼児クラス63名（内訳：3歳児/22名 4歳児/21名 5歳児/20名）

スケジュール

令和7年4月～令和8年3月

花びらを使った  
色水遊び子どもの興味に  
合わせた環境作り

花の種探し、花の栽培

なぜ?どうして?を  
一緒に考えたい試したいする

同じ花でも色が違うね

花屋さんって  
どんなところかな?

お花屋さん巡り

実体験の中で、  
新たな発見をする。

- 花びらで色水遊びをし、花びらの色に変化が見られたことをきっかけにその理由を探ろうとする。花びらの色と同じ色が抽出されるのでは?と予測して実験を行うと、全く異なる結果になる面白さを味わう。花の種類によつての濃淡の違いや、色が出ない花があることなど新たな発見をする。
- 自分で育てた花で色水遊びをしようと、花の種を探したり育てたりする経験をする。
- 身近な植物に触れる中で花屋さんごっこをやってみたいという意見が挙がり、花屋さんに必要な道具やものを調べようと花屋さん巡りが始まる。

環境のために準備した  
素材や道具

- 花、絵の具、粉絵の具、花が咲いている公園、栽培道具、種、植物図鑑

子どもたちの育ち

- 自らの気づきや発見したことを友だちや保育士に伝え、心を通わせている。
- 年上の友だちに道具の使い方を教えてもらいながら、自分なりに試してみたり、色や香りなど五感で楽しんだりする。

植物から染液を作り  
染物体験

ゲットウ

セイタカアワダチソウ

学んだことを活かして  
花の世話をする

枝を斜めに  
切るんだよね！

花への興味の深まりが  
遊びに繋がる

花言葉を知る

地域交流も兼ねて、花屋さん巡りで交流  
したお店の方とワークショップを計画

染液を使って  
花屋さんの  
エフロン作り

生花を用いて、自然物に触れる  
機会を設ける

誕生花が  
あるみたいだよ

保育士が知り得た知識も  
子どもたちと共有する

- 花屋さんを巡る中で、保育室でも花屋さん作りをしたいと子どもたちから声が挙がり、花屋さんごっこが始まる。
- 子どもから、花屋さん巡りでお世話になったお店がワークショップも行なっているという情報が出たため、園に来てもらい、植物を使って染め物を行なった。
- 花に触れる中で、誕生日ごとに花があることを保育士が呟くと、興味を示した子どもたちが自分の誕生花を調べたり、各花に花言葉があることに気がつき、“誕生花カレンダー”を作成する。

環境のために準備した  
素材や道具

- 布、バケツ、生花、図鑑、カレンダー

子どもたちの育ち

- 花屋さんとの交流を通して、実際に染め方や、植物の働きを知り、他活動の中でも学んだことを活かして遊びを広げていく。
- 花に関連したことを自分たちで調べ、友だちに共有して関心を広めていき、皆で興味を深めていく力が育つ。

お部屋に  
飾ろう。



園庭で  
花や葉収集

バジルピザ  
楽しみ…



デコボンの皮を  
すりおろし実験中



水蒸気蒸留法で  
香りを抽出



遠足は香りの専門家がいる  
“AEAJ Green terrace”へ



- ・ローレルの葉をいただいたことをきっかけにハーブの香りへ興味を持ち、「バジルピザを食べたい」という案が挙がり、バジルの栽培を始める。
- ・デコボンの香りを嗅ぎ、皮をすりおろしたり果汁を絞ったりして香りを楽しむ方法を考える。
- ・保育士が“水蒸気蒸留法”を提案すると、園庭で摘んだラベンダーやセージを使って香りの抽出実験をする。
- ・遠足で、香りの専門家に話を聞き、香りの仕組みや調香について学び、興味を深める。

環境のために準備した  
素材や道具

- ・花瓶、収集した草花を飾るケース、おろし器、電熱器、鍋、陶器のカップ、氷、プランター、土、バジルの種、水やり用ボトル、観察記録用の紙

子どもたちの育ち

- ・自然の中にいろいろな匂いがあることを知る。
- ・良い香りを発見した喜びを共有し、同じ目的の中で友だちと心を通わせる。
- ・香りの抽出実験を通して、試行錯誤を繰り返し思考力が育つ。

## アロマジェルポット



焦げた匂いみたい！



お茶の香り

## モイストポップリ・香水



## バスボム

オレンジとホワイトムスクの  
香りを混ぜたら甘酸っぱい  
匂いになると思う！

## アロマハイストーン

- ・アロマオイルや蒸留で抽出した香りを使い「アロマジェルポット」「バスボム」「アロマハイストーン」作りをし、好きな香りを掛け合わせ、調香を楽しむ姿も見られた。
- ・園庭の金木犀を集めて、香水やモイストポップリを作り、1か月後成功しているか期待を膨らませながら経過を待つ。
- ・木の香りやお茶、食材など、日常に溢れている香りを確かめ味わう。

環境のために準備した  
素材や道具

子どもたちの育ち

- ・アロマオイル、保冷剤、瓶、ティーバッグ、金木犀、塩、無水エタノール、重曹、クエン酸、片栗粉、食紅、石膏、水、型、
- ・互いに作り方を教え合ったり、協力して作ったりと、異年齢での関わりを深める姿があった。
- ・保育士からの発信を基に、目に見えない香りを形にすることで更に香りを身近に感じながら楽しんでいる。



浅いところと深い  
ところがある!



ご飯を炊く

ご飯を炊くのって  
時間がかかるし  
大変なんだね



- 自然環境で過ごすには自分たちで工夫して過ごすことや、友だちと協力して取り組むことの大切さを感じる。
- 蒔をくべてご飯を炊くなど、簡単にはご飯が出来ないこと、薪を使うことで美味しいご飯が炊けることを実体験を通して学ぶ。
- 川遊びでは水の冷たさや川の流れる音、自然の匂いなど、五感を使って存分に体験することで、心地良さを感じている。

環境のために準備した  
素材や道具

子どもたちの育ち

- 宿泊費、移動バス、ライフジャケット
- 友だちと協力して取り組む、規律を守る大切さを知る。
- 自然の恵みをいただいて食べることで、感謝の気持ちが生まれる。
- 自然を大切にしようという、豊かな心が育まれている。

## 全体の振り返り

- お泊まりキャンプの経験が、日々の子どもたちの眩きや気づきを豊かにし、探求活動に広がりや新たな興味、アイデアの源になっている。また、普段から自然に触れる中で、匂いを感じ見て触れて調べるなどして、五感を使って活動を展開していった。花の種類によって濃淡の違いがあることなど遊びを通して学ぶことで、自分たちで確かめることの楽しさを知り、どうやったらできるかを考えたり、友だちと協力してやってみようとしたりする姿など、非認知の育ちを感じる。

